

## 水産研究本部が新たに取り組む研究課題

平成 29 年度に道総研水産研究本部各水産試験場が行う主な新規研究課題を下記一覧表に示しました。

今回はこの中から、重点研究課題である「道東サケの漁獲回復を実現する『天然潟湖(せきこ)』を活用した新たなサケ放流体系の確立」の研究概要についてご紹介します。

### 平成29年度新規研究課題一覧(2017年4月1日現在)

研究制度名	課題名	年 限	担当試験場
重点研究	道東サケの漁獲回復を実現する「天然潟湖」を活用した新たなサケ放流体系の確立	H29-32	さけます・内水面
	網走湖のシジミ漁業被害の解消に向けたカビ臭要因植物プランクトンの発生予測手法の開発	H29-31	さけます・内水面
職員研究奨励	カメラセンサを用いた海獣類の海上モニタリング手法の開発	H29	稚内
	潜砂性二枚貝の養殖に関する研究	H29	稚内
	古の謎。コンブの休眠配偶体を探す！	H29	中央、釧路
	スボアバック法に替わる藻場造成技術構築を目指して	H29	中央
	海鳥の採餌行動を利用したサケ幼稚魚の沿岸生活史の解明	H29	さけます・内水面
	サクラマス由来遊資源評価手法の開発	H29	さけます・内水面
	さけます養殖生産の効率化を目指した性転換雄の若齢成熟方法の検討	H29	さけます・内水面
	販路が開拓されつつある未利用カジカ類の年齢査定方法の開発	H29	さけます・内水面
	出汁コンブの消費拡大のための品質向上試験	H29	釧路
	無人調査艇によるヨレモク群落マッピング技術の提案	H29	稚内
	ホッキガイを用いた飯寿司製品開発の技術支援	H29	中央
経常研究	北海道周辺における有害赤潮生物カレニア・ミキモイの分布実態の解明	H29-32	中央
	リシリコンブ用種こぶの夏季の枯死、脱落要因に関する実験的アプローチ	H29-31	釧路
	マナマコの保管条件と製品品質に関する試験	H29-30	中央
	道東産マイワシ・サバ類の消費拡大を目指した高度加工技術の開発	H29-32	釧路
	ホタテガイ外套膜を原料とした乾燥食品および調味料の品質向上試験	H29	網走
	サケ回帰時期の河川・沿岸環境が増殖事業に及ぼす影響評価	H29-33	さけます・内水面
	さけます増養殖のための飼育水リサイクルに関する基盤研究	H29-31	さけます・内水面
	微生物群評価技術(BIOLOG試験)を用いた北海道のヤマトシジミ漁場の底質環境評価	H29-31	網走、 さけます・内水面
	さけます養殖のための発酵植物性原料を用いた低魚粉餌料の開発に関する研究	H29-31	釧路、 さけます・内水面
	常呂川流域における人間活動と水・物質循環とのつながりの解明	H29-31	さけます・内水面
公募型研究	フサカサゴ科メバル属魚類の性成熟度判定および繁殖制御技術の開発	H29	栽培
	浸漬液を用いたウニの冷凍技術開発	H29	中央
	マコンブ遊走子の拡散距離を考慮したスボアバック効果の再検証	H29	函館
	マサバの生食用冷凍食材に必要な品質基準の検討	H29	釧路

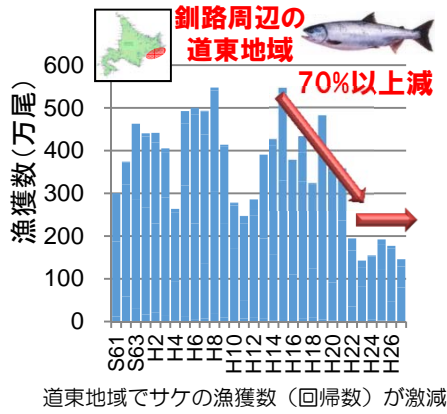
# 道東サケの漁獲回復を実現する「天然潟湖」を活用した新たなサケ放流体系の確立

担当機関：さけます・内水面 水産試験場、地質研究所、環境科学研究センター

協力機関：北海道大学、十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会、

浜中町さけます振興事業協会、浜中漁業協同組合、散布漁業協同組合

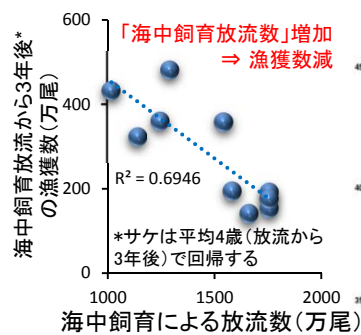
## 研究の背景・目的



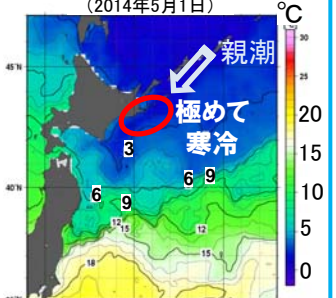
### ●当該地区のサケ稚魚放流の実態



### ●海中飼育放流数と漁獲数

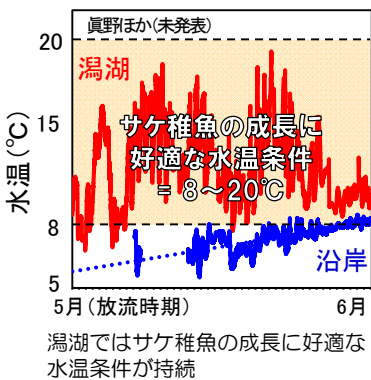


### ●海中飼育時期の沿岸水温

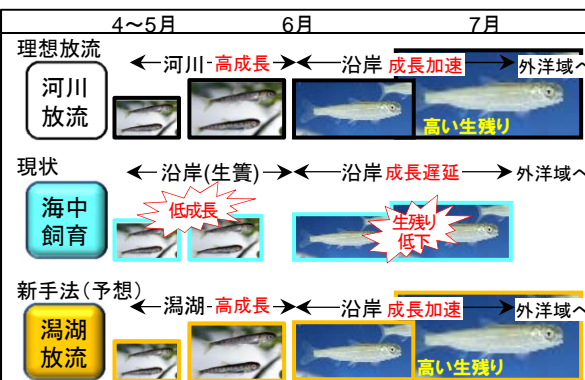


低水温 ⇒ 成長率の低下 ⇒ 海中飼育群の生残り低下  
低水温を回避する放流手法開発への期待大

### ●潟湖（幌戸沼）の水温特性



### ●サケ稚魚の成長様式(放流手法別)



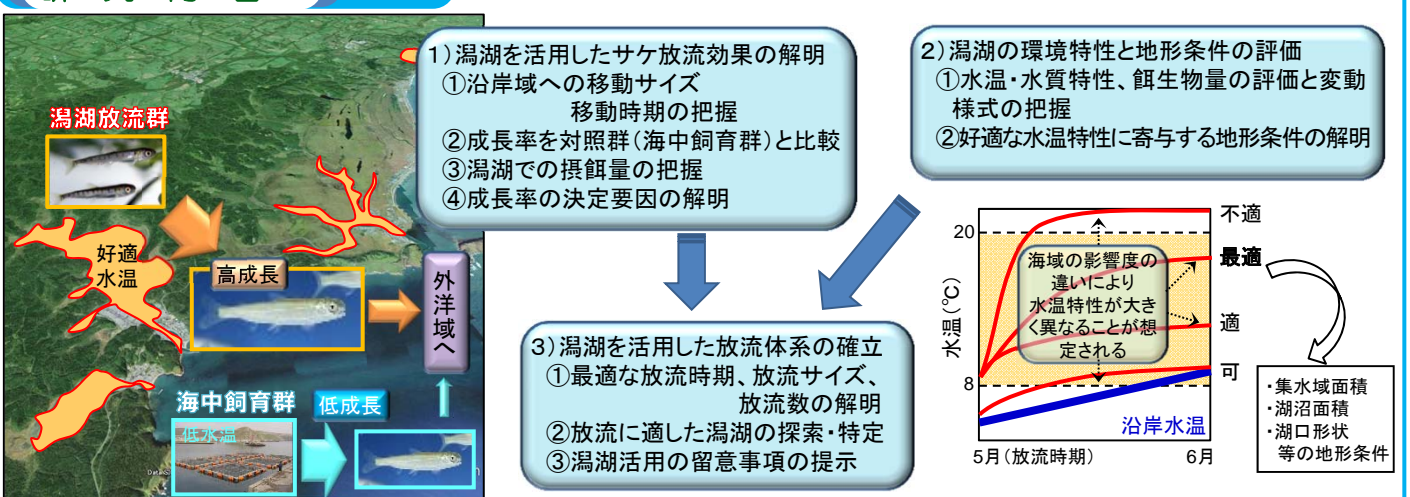
### 潟湖：成育場として極めて有望 道東域に多数分布

現状では、特定の潟湖の水温情報が得られていない。放流水域として有望な潟湖の環境について詳細に調べる必要がある。

#### 目的：

- ・潟湖での放流効果の解明
  - ・潟湖を活用した放流体系の確立
  - ・放流に適した潟湖の特定
- ⇒ 漁獲回復の取組みを強力に支援

## 研究内容



## 期待される成果と効果

- ・潟湖の水温特性を最大限に活用した新たな放流体系の確立と放流に適した潟湖の特定
- ・道東太平洋地域におけるサケ漁獲量の回復(漁獲数:約20%増、生産額:4~5億円向上)